

令和4年2月

第24回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第24回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2021年7～9月期(前期)の業況は「横ばい」。
～新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いた。
- 2021年10～12月期(今期)の業況は「やや改善」。
～新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態となり、業況D.I.は3期ぶりに改善した。
- 2022年1～3月期の業況は「やや悪化」となる見通し。

業況D.I.

○2021年7～9月期(前期)は▲35(良い<悪い)と、前々期(▲36)と横ばい。

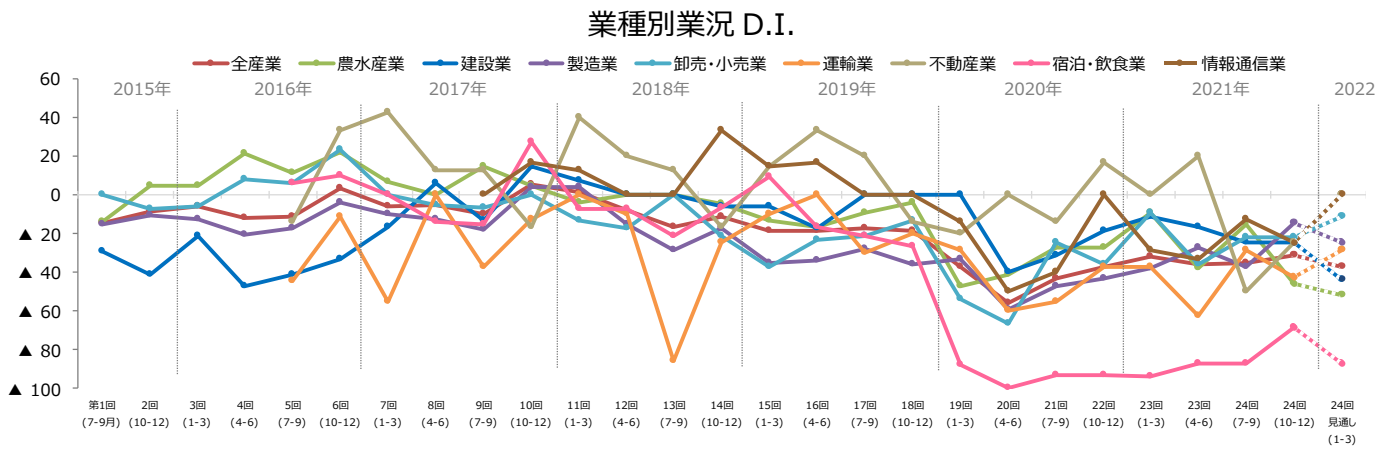
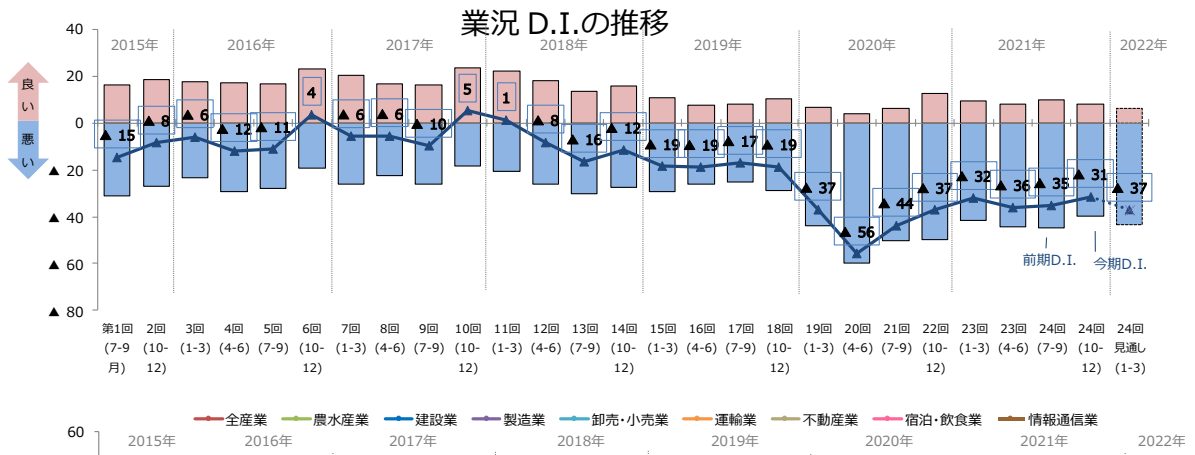
- 全体としては14期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年7～9月期)6番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲44)と比較するとやや改善。
- 業種別では、コロナ禍による巣ごもり需要の拡大などから、運輸業(前々期▲63→前期▲29)、農水産業(前々期▲38→前期▲15)、情報通信業(前々期▲33→前期▲13)が大幅に改善した一方、不動産業(前々期20→前期▲50)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲27→前期▲38)が悪化した。

○2021年10～12月期(今期)は▲31(良い<悪い)と、前期(▲35)よりやや改善。

- 全体としては15期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年10～12月期)8番目に低い水準となった。
- 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。
- 業種別では、新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態になった影響などから、不動産業(前期▲50→今期▲25)、製造業(前期▲38→今期▲15)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲69)が改善した。

○2022年1～3月期(来期)は▲37(良い<悪い)と、今期(▲31)より、やや悪化する見通し。

- 前年同期(▲32)と比較すると、やや悪化。
- 業種別では、建設業(今期▲25→来期▲44)、宿泊・飲食業(今期▲69→来期▲88)、製造業(今期▲15→来期▲25)が悪化する見通し。



※ 上記は、業況 D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○2021年7～9月期（前期）は▲35(良い<悪い)と、前々期(▲36)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては14期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年7～9月期)6番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲44)と比較すると、やや改善。 ➢ 業種別では、コロナ禍による巣ごもり需要の拡大などから、運輸業(前々期▲63→前期▲29)、農水産業(前々期▲38→前期▲15)、情報通信業(前々期▲33→前期▲13)が大幅に改善した一方、不動産業(前々期20→前期▲50)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲27→前期▲38)が悪化した。 <p>○2021年10～12月期（今期）は▲31(良い<悪い)と、前期(▲35)より、<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては15期連続のマイナスで、調査開始以来(2015年7～9月期～2021年10～12月期)8番目に低い水準となった。 ➢ 前年同期(▲37)と比較すると、やや改善。 ➢ 業種別では、新型コロナウイルスの感染拡大が小康状態になった影響などから、不動産業(前期▲50→今期▲25)、製造業(前期▲38→今期▲15)が大幅に改善し、宿泊・飲食業(前期▲88→今期▲69)が改善した。 <p>○2022年1～3月期（来期）は▲37(良い<悪い)と、今期(▲31)より、<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 前年同期(▲32)と比較すると、やや悪化。 ➢ 業種別では、建設業(今期▲25→来期▲44)、宿泊・飲食業(今期▲69→来期▲88)、製造業(今期▲15→来期▲25)が悪化する見通し。
生 産 高 D.I.	<p>○前期は▲18(増加<減少)と、前々期(▲24)より<u>やや改善</u>した。</p> <p>○今期は2(増加>減少)と、前期(▲18)より<u>大幅に改善</u>した。</p>
売 上 ・ 完 工 高 D.I.	<p>○前期は▲28(増加<減少)と、前々期(▲21)より<u>やや悪化</u>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、宿泊・飲食業(前々期▲29→前期▲81)が大幅に悪化し、情報通信業(前々期29→前期0)が大幅に下落した。 <p>○今期は▲19(増加<減少)と、前期(▲28)より<u>やや改善</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、製造業(前期▲27→今期▲2)、宿泊・飲食業(前期▲81→今期▲59)が大幅に改善し、卸売・小売業(前期▲40→今期▲30)が改善した。 <p>○来期は▲25(増加<減少)と、今期(▲19)より<u>やや悪化</u>する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、不動産業(今期20→来期▲25)が大幅に下落、建設業(今期▲35→来期▲53)が悪化する見通し。

製品・商品在庫 D.I.	<p>○前期の在庫の過不足感は「過剰」が6%、「適正」が76%、「不足」が18%、D.I.は▲13(過剰<不足)となり、前々期(▲13)と横ばい。</p> <p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が7%、「適正」が72%、「不足」が20%、D.I.は▲13(過剰<不足)となり、前期(▲13)と横ばい。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○前期は▲11(上昇<下落)と、前々期(▲5)よりやや悪化。 ▶業種別では、卸売・小売業(前々期9→前期▲11)が大幅に下落し、製造業(前々期2→前期▲15)が下落、宿泊・飲食業(前々期▲14→前期▲31)が悪化した。</p> <p>○今期は▲7(上昇<下落)と、前期(▲11)よりやや改善。 ▶業種別では、宿泊・飲食業(前期▲31→今期▲14)が改善し、製造業(前期▲15→今期▲9)、建設業(前期▲6→今期0)、農水産業(前期▲20→今期▲16)がやや改善した。</p> <p>○来期は▲5(上昇<下落)と、今期(▲7)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、不動産業(今期50→来期0)が大幅に下落した一方、卸売・小売業(今期▲11→来期11)が大幅に改善する見通し。</p>
原材料仕入単価 D.I.	<p>○前期は57(上昇>下落)と、前々期(51)よりやや上昇。 ▶業種別では、宿泊・飲食業(前々期43→前期80)が大幅に上昇し、不動産業(前々期40→前期50)が上昇した。</p> <p>○今期は72(上昇>下落)と、前期(57)より上昇。 ▶業種別では、建設業(前期53→今期80)、製造業(前期53→今期76)、農水産業(前期59→今期81)が大幅に上昇した。</p> <p>○来期は73(上昇>下落)と、今期(72)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、卸売・小売業(今期20→来期44)が大幅に上昇する一方で、宿泊・飲食業(今期73→来期67)がやや下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○前期は▲20(楽<苦しい)と、前々期(▲20)と横ばい。 ▶業種別では、建設業(前々期▲26→前期▲6)が大幅に改善した一方、卸売・小売業(前々期18→前期0)、不動産業(前々期33→前期20)が下落した。</p> <p>○今期は▲26(楽<苦しい)と、前期(▲20)よりやや悪化。 ▶業種別では、建設業(前期▲6→今期▲31)が大幅に悪化、卸売・小売業(前期0→今期▲20)が大幅に下落した。</p> <p>○来期は▲27(楽<苦しい)と今期(▲26)と横ばいの見通し。 ▶業種別では、農水産業(今期▲26→来期▲31)、製造業(今期▲23→来期▲26)がやや悪化する一方、卸売・小売業(今期▲20→来期▲10)が改善する見通し。</p>

概 況

雇 用 人 員 D.I.

- 前期は▲42(過剰<不足)と、前々期(▲37)よりやや悪化。
 - 業種別では、運輸業(前々期▲38→前期▲75)、宿泊・飲食業(前々期▲12→前期▲41)、情報通信業(前々期▲29→前期▲50)が大幅に悪化した。
- 今期は▲49(過剰<不足)と、前期(▲42)よりやや悪化。
 - 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲41→今期▲53)、卸売・小売業(前期▲20→今期▲30)、製造業(前期▲43→今期▲53)が悪化した。
 - 鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2021年11月の有効求人倍率は1.47倍となっている。11月の有効求人数(パート含む)は3,812人、有効求職者数(パート含む)は2,600人となっている。
- 来期は▲49(過剰<不足)と、今期(▲49)と横ばいの見通し。
 - 業種別では、不動産業(今期▲20→来期0)が大幅に改善し、運輸業(今期▲75→来期▲88)、情報通信業(今期▲50→来期▲63)が悪化する見通し。

損 益 D.I.

- 前期は▲32(好転<悪化)と、前々期(▲28)よりやや悪化。
 - 業種別では、情報通信業(前々期14→前期▲25)が大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲9→前期▲40)が大幅に悪化した。
- 今期は▲32(好転<悪化)と、前期(▲32)と横ばい。
 - 業種別では、宿泊・飲食業(前期▲82→今期▲53)が大幅に改善、不動産業(前期0→今期20)が大幅に上昇した一方、農水産業(前期▲18→今期▲46)が大幅に悪化した。
- 来期は▲36(好転<悪化)と、今期(▲32)よりやや悪化する見通し。
 - 業種別では不動産業(今期20→来期▲25)が大幅に下落し、製造業(今期▲12→来期▲27)、宿泊・飲食業(今期▲53→来期▲65)が悪化する見通し。

【調査概要】

- 1 調査対象： 市内事業所 179 先
〔 農水産業 35 先、建設業 22 先、製造業 55 先、卸売・小売業 19 先
不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 21 先、情報通信業 8 先 〕
回答数：142 件 回答率：79.3%
- 2 調査時期： 2022 年 1 月
- 3 対象期間： 2021 年 7～9 月期実績(前期)、
2021 年 10～12 月期実績(今期)、
2022 年 1～3 月期見通し(来期)
- 4 調査方法： 郵送方式
- 5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。
例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。
- 6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号
T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001
m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

